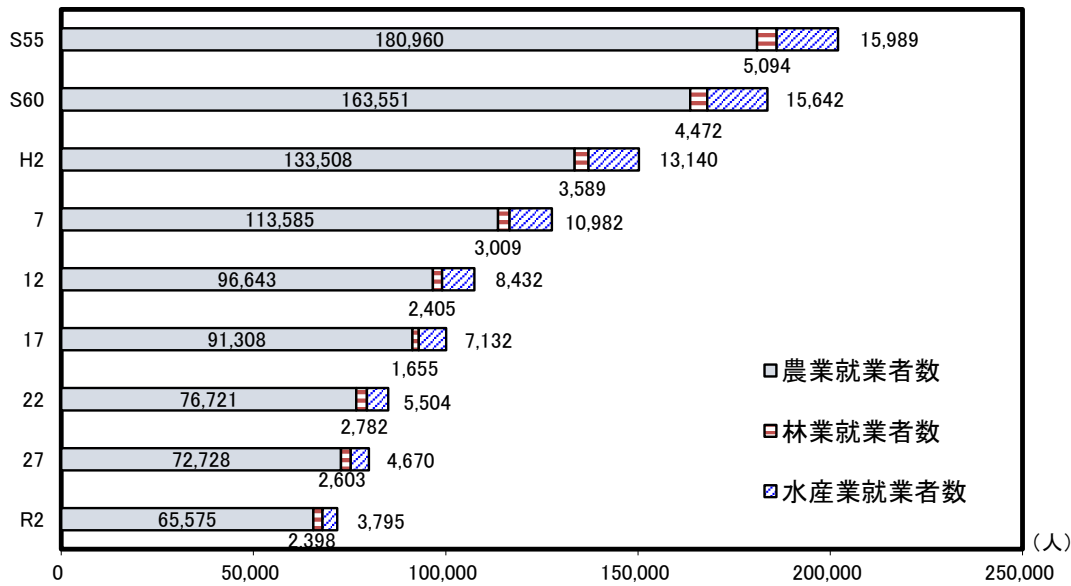


熊本の第一次産業就業者数の推移



解 説

【概要】

令和2年の県内の第一次産業就業者数は72千人で、就業者総数に占める割合（第一次産業就業者比率）は8.94%となり、全国平均の3.51%を大きく上回った。

産業内訳では、農業就業者が65,575人と約91%を占めた。

年次推移をみると、就業者数は、減少傾向が続いており、後継者育成等が重要な課題となっている。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入を含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○第一次産業

農業、林業及び水産業。
（林業は、「農業、林業」から「うち農業」を引いて算出した。）

○第一次産業就業者比率

第一次産業就業者数
÷就業者総数×100

○農業就業者比率

農業就業者数÷就業者総数×100

○林業就業者比率

林業就業者数÷就業者総数×100

○水産業就業者比率

水産業就業者数÷就業者総数×100

資 料 出 所	調 査 期 日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年